

2018年3月期 第3四半期(累計) 【連結】決算ハイライト

(単位:百万円)

第3四半期(累計)業績	2017/3期 第3四半期		2018/3期 第3四半期		対前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	58,483	100.0%	78,329	100.0%	19,846	33.9%
営業利益	3,953	6.8%	4,564	5.8%	610	15.5%
営業外収益	640	1.1%	1,052	1.3%	411	64.4%
営業外費用	667	1.1%	876	1.1%	209	31.4%
うち支払利息	293	0.5%	565	0.7%	272	93.1%
うち為替差損	300	0.5%	189	0.2%	△ 110	△ 36.8%
経常利益	3,926	6.7%	4,739	6.1%	813	20.7%
特別利益	200	0.3%	-	-	△ 200	-
特別損失	-	-	140	0.2%	140	-
税金等調整前四半期純利益	4,126	7.1%	4,598	5.9%	472	11.5%
法人税等	923	1.6%	1,224	1.6%	301	32.6%
法人税等調整額	378	0.6%	518	0.7%	139	37.0%
非支配株主に帰属する 四半期純利益	345	0.6%	563	0.7%	218	63.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,479	4.2%	2,292	2.9%	△ 187	△ 7.5%
為替レート(1USD/円)	101.12		112.73		左記第3四半期の為替レートは 各期9月末TTMレート	
為替レート(1ユーロ/円)	113.36		132.85			

≪第3四半期(累計) 決算概要(前年同四半期比)≫

【売上高】

前年同四半期比 198.4億円(+33.9%)の増収。

≪国内≫ 前年同四半期比 36.2億円(+10.9%)の増収。

自動車関連産業は堅調な国内生産とターボチャージャー用軸受販売などが伸長し増収。船舶向け軸受販売は外部環境により減少したものの、建設機械向け軸受販売は増収となった。前連結会計年度に買収した会社の売上 25億円も加わり増収となった。

≪海外≫ 前年同四半期比 162.1億円(+64.1%)の増収。

北米の自動車用エンジン軸受及び建設機械向け軸受販売が大きく伸長し、欧州(ロシア含む)・アジアも伸長した。前連結会計年度に買収した会社の海外子会社の売上 89億円も加わり大幅増収となった。

【利益】北米の生産の安定稼働化による原価改善等があったものの、材料費の上昇、買収2社の一時的な費用などが生じ、売上原価率は悪化。営業利益はのれんの償却等をカバーし 45.6億円と前年同四半期に比べ 6.1億円の増益となり、経常利益は 47.3億円と同 8.1億円の増益となった。親会社株主に帰属する四半期純利益は子会社での固定資産減損損失 1.4億円が生じ、また、前年同期に計上した補助金 2.0億円の今期計上がなかったことなどにより、22.9億円と前年同四半期に比べ 1.8億円の減益となった。

≪配当予想≫

配当に変更はありません。1株あたり年間 30円(中間実績 15円、期末予想 15円)。

≪所在地別(前年同四半期比)≫

◇国内

前年同四半期比の売上高増減率は+10.9%

≪自動車関連≫ ターボチャージャー用軸受・高付加価値エンジン軸受などの増加や堅調な国内自動車生産などにより増加した。

≪建設機械向け≫ 建設機械向け軸受販売が輸出を含めて増加した。

≪船舶向け≫ 大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受販売・中小型船舶向け中高速ディーゼルエンジン用軸受販売が輸出を含めて減少した。

≪一般産業向け≫ 当第3四半期累計期間では、石炭・石油火力発電設備用の特殊軸受などが苦戦した。

・営業損益は材料費の上昇、及び業務委託費、運送費など一般管理費の増加を受けて減益となった。

◇海外 (12月決算の会社については1~9月の累計)

【アジア】 前年同四半期比の売上高増減率は+93.4%

自動車用エンジン軸受販売では中国、タイを中心に堅調に推移し、買収した会社の海外子会社売上高 73億円が加わったことも寄与し売上高は大きく増加した。営業損益は材料費の上昇や買収した会社ののれんの償却などにより減益となった。

【北米】 前年同四半期比の売上高増減率は+57.0%

メキシコ工場の生産拡大と建設機械需要の回復、買収した会社の海外子会社売上 15億円が加わったことも寄与し売上高は大きく増加した。営業損益も前期のメキシコ工場増産に伴うコスト増要因が減少し大幅増益となった。

【欧州】 前年同四半期比の売上高増減率は+29.7%

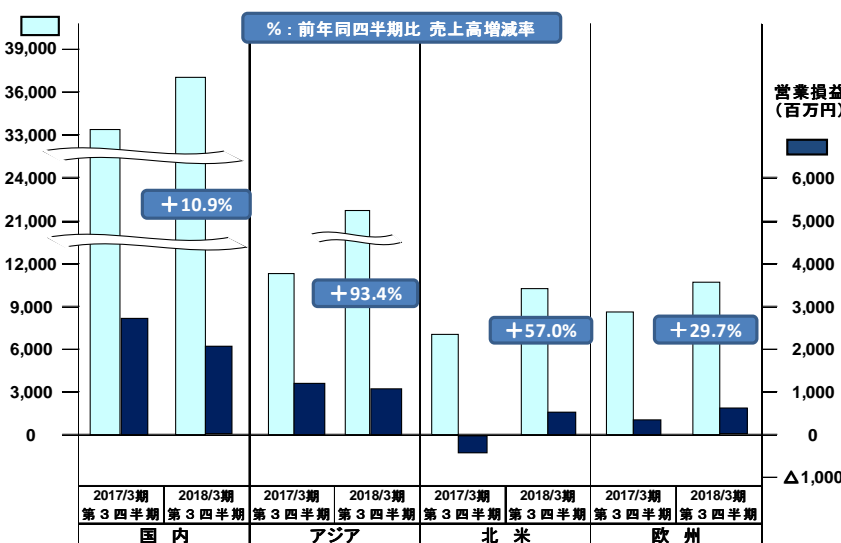
欧州(ロシアを含む)では、自動車関連を中心に堅調に推移し売上高は大きく増加した。特にロシアの回復が顕著であった。営業損益も、売上高増加に伴い増益となった。

通期業績推移	実績			2018/3期 第3四半期 (累計)	予想 2018/3期 通期
	2015/3期 通期	2016/3期 通期	2017/3期 通期		
売上高	85,015	81,400	85,073	78,329	101,000
営業利益	7,633	7,114	5,103	4,564	5,600
(営業利益率)	(9.0%)	(8.7%)	(6.0%)	(5.8%)	(5.5%)
経常利益	8,129	6,796	5,427	4,739	5,800
(経常利益率)	(9.6%)	(8.3%)	(6.4%)	(6.1%)	(5.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,459	3,919	2,635	2,292	2,700
(純利益率)	(5.2%)	(4.8%)	(3.1%)	(2.9%)	(2.7%)
為替レート(1USD/円)	120.55	120.61	116.49	112.73	108.00
為替レート(1ユーロ/円)	146.54	131.77	122.70	132.85	128.00

セグメント情報 (事業別)	外部顧客への売上高					
	2017年3月期第3四半期		2018年3月期第3四半期		対前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
自動車用エンジン軸受	40,412	69.1%	47,829	61.1%	7,416	18.4%
自動車用エンジン以外軸受	9,459	16.2%	10,586	13.5%	1,126	11.9%
非自動車用軸受	7,121	12.2%	6,841	8.7%	△ 280	△ 3.9%
自動車用軸受以外部品	-	-	11,453	14.6%	11,453	-
その他(※)	1,488	2.5%	1,618	2.1%	129	8.7%
合計	58,483	100.0%	78,329	100.0%	19,846	33.9%

(※)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

売上高(百万円) 所在地別 売上高・営業損益(セグメント間消去前)推移



主要財務指標	2015/3末	2016/3末	2017/3末	2017/12末	2017/3末比
売上高営業利益率	9.0%	8.7%	6.0%	5.8%	△ 0.2P
自己資本当期純利益率(ROE)※	10.8%	9.0%	5.9%	6.5%	+0.6P
自己資本比率	37.4%	35.8%	29.1%	30.3%	+1.2P
純有利子負債(有利子負債-現金)	17,964	23,237	49,108	53,606	4,497

※ROEは、親会社株主に帰属する四半期純利益を年換算し算出しております。

設備投資・減価償却	2014/3期 通期	2015/3期 通期	2016/3期 通期	2017/3期 通期	2017/3期 第3四半期 (累計)	2018/3期 第3四半期 (累計)	対前年同四半期比
					増減額	増減率	
設備投資	10,838	10,597	14,802	12,329	6,629	6,561	△ 67 △ 1.0%
減価償却費	5,027	5,744	6,259	6,751	4,706	6,407	1,701 36.2%

(注)業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。